

資料1

前回会議の振り返りとまとめ

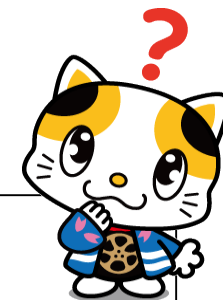
1 門真市の現状について

事務局からの説明

- ① 教育を取り巻く国等の現状や動向について説明
- ② 現在の計画期間における門真市の取組について説明
- ③ 統計データをもとに門真市の教育をとりまく現状について説明

各委員の意見①【保護者・地域との関わりについて】

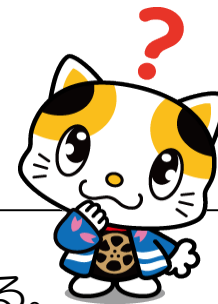
- コロナ後も地域や家庭の協力により、子どもたちは比較的落ち着いた学校生活を送れていた。
- 学力向上への取組などは、学校と保護者と子どもがトライアングルで取り組んでいかないといけない。
- 親も学校に任せきりにするのはなく、自分たちが子どもに向き合うことが子どもの成長につながる。
- 学校行事も保護者や地域の方の力を借りながら進められたらと思う。



計画策定に必要なポイント

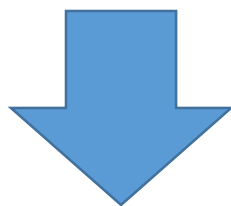
- 教育についてのさまざまな取組を進めていくには、家庭や地域が目標を共有して進め、一体となって取り組むことが必要





各委員の意見②【コロナ禍における今後の学校のあり方について】

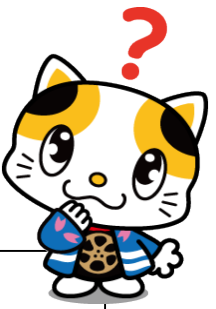
- 今後はコロナウイルスと共存する状況となるので今回の教育振興基本計画にもその視点が必要である。
- 学校も今の状況を受けて働き方や教育の内容を見直す時期にきていおり、色々なことを整理するいい機会にもなっている。
- オンライン授業は、通信が切れることがあると困るのでICTを活用した学習ができるような環境整備が必要。
- コロナ禍で、教職員は疲弊している。



計画策定に必要なポイント

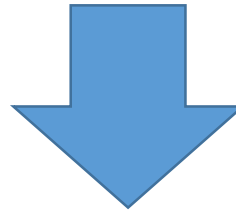


- これから策定する計画にはW i t h コロナの観点で取組を考えていくことが必要である。
- この機会に教育の内容を見直し、より新しい時代に沿った観点を取り入れることが必要である。



各委員の意見③【コロナウイルス感染症を踏まえた子どもとの関わりについて】

- これまで不登校気味だった子どもが登校できるケースも増えている。
- 距離やゆとりができると学校に行きやすい子どももいる。
- 対面ではあまり話をしなかった学生もオンラインの1対1になると話せることがあった。
- 世の中が揺れ動く中で一番影響を受けているしんどい家庭のフォローをするのが学校であれたらいいと思う。
- オンライン授業についていけない子どももいるので、対面の必要性を改めて感じた。



計画策定に必要なポイント

- より子どものニーズに応えるため、今後対面やオンラインなど状況に応じて様々な方法やツールを活用した学習も必要なのではないか。
- その中でも、対面で話すことの重要性も改めて認識でき、「人とのつながり」は今後一層必要なものであり、学校の役割が再認識された。



2 計画の基本理念について

事務局からの説明

- ① 基本理念について前計画を引き継ぐことについて説明
- ② これまでの教育に関係する検討経過から、「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」を「めざす子ども像」とすることについて説明
- ③ 計画の体系の概要について説明

各委員の意見①【基本理念の表現について】

- 「子どもの夢」というのはふわっとした表現である
- どんな道筋にするのか示してあげる計画としたい
- どこを大切にするのかを意識した理念・体系としたい
- 「みんな」という表現が具体的でなくわかりにくい
- メリハリのある計画としたい
- 計画の中に重みづけがあるといいと思う



基本理念に必要なポイント

- 目標に向かってどう取り組んでいくのか、具体的に表現できると良いのではないかな。

基本理念

子どもの夢と幸せをみんなではぐくむ教育

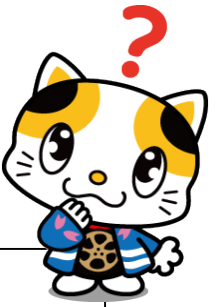
めざす子ども像

将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども



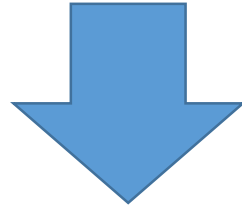
前回提示した基本理念





各委員の意見②【基本理念の表現について】

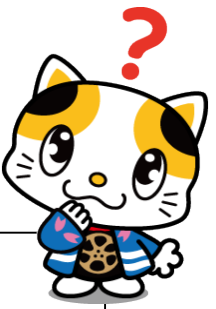
- 点数化されないコミュニケーション力やプレゼン力、頑張る力をつけることがこれからの社会を生きる子どもたちには必要である。
- 自主性や主体性を身につけることが必要である。



基本理念に必要なポイント



- 新しい学習指導要領がめざす「3つの観点」（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力）を育むことが、門真の子どもたちにとってもやはり重要である。



各委員の意見③【体系（これからの取組）について】

- スマホ等の情報機器の取り扱い方などを伝えるモラル教育が必要である。
- スマホの普及により生活リズムが崩れている子どもが多いので改善が必要である。
- 外国語教育はこれから必要になってくる。
- キャリア教育について、具体的な施策として記載できるといいと思う。
- 支援教育は門真市のキーワードになるので、取組の記載が必要である。
- インクルーシブ教育の視点も必要である。
- 子どもの自主性・主体性を育むために、子どもが地域の中で役割を持てる取組があればよい。
- 学校が疲弊しているので学校支援が必要である。



体系や今後の取組内容に必要なポイント

- それぞれの観点や取組を計画に反映していく必要がある。



第1回会議のまとめ

まとめ①

学校・地域・家庭が目標を共有して一体となり取り組むことが必要である。

まとめ②

現在の計画を引き継ぐが、より新しい時代に沿った観点を取り入れた計画にしたい。

まとめ③

目標を示すための道筋は具体的に表現したほうが良い。

まとめ④

「人とのつながり」は必要。「つながり」を基礎とした計画としたい。